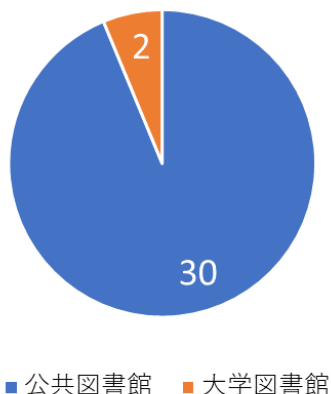


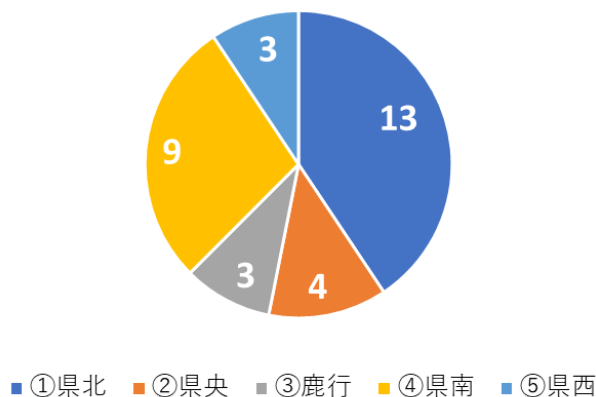
# 令和4(2022)年度茨城県図書館協会 第1回ステップアップ研修会 アンケート結果報告

実施日：2022年9月7日(水) 研修参加者：40名 アンケート回収：32枚 アンケート回収率 80%

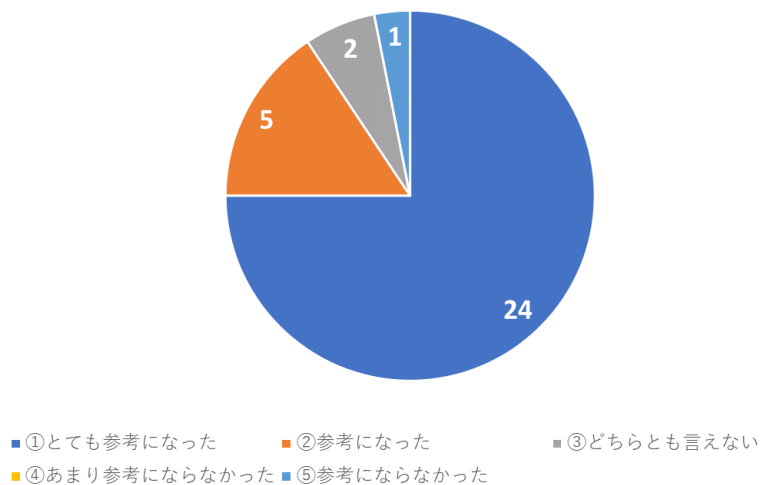
## 問1 所属について



## 問2 地区について



## 問3 「図書館の広報はなぜ“刺さらない”のか～専門職の社会的評価を上げる企画のポイント～」について



#### 問4 今回の研修の良かった点

- キャッチコピーをつける大切さを理解できた。
  - 生活の中にヒントを見つけるなど、できそうなポイントがあった。
  - 大事なポイントを簡潔に教えていただきました。
  - さまざまな例をあげていただいたことと、要点がしぼられていたこと。(キャッチコピーと話題性)
  - 今後広報する上で具体的な話が聞けた。
  - 広報に対する考え方から学ぶことができた。
  - グループワークでアイデアをたくさん聞けて面白かったです。
  - グループワーク形式だったので、他館の方の考えや状況を知ることができた。また先生のお話が実践的だったのでわかりやすかった。
  - グループワークがあった。講義のテンポが良かった。各館の発表でいろんな考えが知ることができてよかった。
  - 図書館のダメなところを先生からピックアップしてもらえ、改善点がわかったので良かった。
  - 事例を提示していただいたのが良かったです。
  - 実践的で、図書館らしさを排除した内容が斬新でした。
  - zoomのグループワークは初体験でしたが、楽しかったです。
  - メモ不要のため、講義に集中できた点。
  - 飽きない講義展開だったこと、気づきがあったこと
  - なぜ刺さらないのかという点において分かりやすく話してくださり、とても参考になりました。今後の参考にしていきたいと思います。
  - グループワークができたこと。講師のお話が要点がわかりやすかった。
  - ブレイクアウトルームで討論会ができたこと。
  - 広報作成時のポイントが明確でとてもわかりやすかったです。広報の改善点を考えても具体的な案が浮かばないことが多かったですが、「キャッチコピーをつける」「セグメントを決める」などの方法は取り入れていきたいと思いました。
  - キャッチコピーを考えることが大切だと理解できました。
  - わかりやすい。
  - スライドが見やすく、とても参考になるお話ばかりで引き込まれました。
  - 講師の方の研修、講演実績など含め説得力があった。グループワークでの能動的な経験。
  - グループワークを通してアイデアを共有することができて、企画を考えるうえで良い刺激となった。
  - オンライン開催。
  - 固定概念にとらわれないようにしていくことに、背中を押された感じがする。
  - 人を引き付けるためには、キャッチコピーが大切であるとわかった。
- グループワークで、他の人からユニークなイベント企画やキャッチコピーを聞いて勉強になった。
- 具体的な事例を挙げてアドバイスいただけたこと。グループワークも良かったです。
- 図書館広報でキャッチコピーを意識したことがなかったため、とても興味がわいた。

●広報に対する凝り固まったイメージが、講義の中でどんどんなくなっていき、グループワークを通して新しい発想をすることができました。これまでチラシやポスターの作製は大変な作業でしたが、これからは楽しく取り組めるようになったと思います。

問5 今回の研修の改善して欲しい点

●グループワークではなく、図書館単位でワークしたほうスムーズかと思う

●先生のお話を全て聞けるプログラムにしてほしい。

●時間が足りなかったです。

●グループワークをするうえでの注意点を詳しく提示していただけると、更によかったと思う。

●盛りだくさん過ぎて数回に分けてほしかった。

●もう少し時間をかけてお話を伺いたかった。

●グループワークの際、雑音が多い環境からの接続だと聞き取れない。

静かな環境での接続を周知徹底してほしい。

●時間がかなり押していたので、もう少し時間配分に余裕を持った研修計画をしてほしい。

●まとめなど後半のスライドや解説がサッと終わってしまったのが残念でした。

●途中で飛ばした他のテーマが気になりました。時間制限があるので仕方がないですが。

●もっと具体的な話が聞きたかったので、時間が足りないと感じました。

●グループワークで何を決めて誰がどう発表するかが分かりづらく、グループに分かれた後で各自の認識をすり合わせるのに時間を取られてしまった点。

●音声の乱れがあったこと

●雑音が入り、聞き取りにくいところがあった。特に最後の榎村さんからの伝達事項が聞きとりづらかった。

●気になるスライドがいくつかあったので、もう少し研修時間が長くてもいいなと思いました。

●オンラインだと初対面の方との話し合いはとても難しいと感じました。

●もう少し講義の時間が欲しかった

●グループワークで他のグループからのフィードバックを聴ける時間があればなおよかった

●終盤に若干音声聞き取りにくかったです。

●zoomで複数の人が話をすると聞き取りにくかった。

●講義時間が短すぎて、一番聞きたかったキャッチコピーの作り方がわからなかった。「日常生活からヒントを見つけ出す」ことがポイントなら、別日にグループワークを設けるなどして、考える時間を作ってほしかった。

●研修時間が足りないのではないか

●スライドの作り方についての良書が、各図書館に多数所蔵されていますので、是非ご参考ください。

●とても楽しい時間でした。テーマについてもっと深掘りして欲しかった。時間が足りませんね。

●時間が足りなかったため、回数を重ねて（第1回、第2回といったように）講義してもらいたい。

●マイクのオンオフの案内や、ブレイクアウトルームを使った研修の進め方など、マニュアル資料があ

ると、参加者がその通りに動くことができ混乱することが少なくなると思います。

問6 ご自分の実践課題と行動プラン(具体的に)

●今日学んだことを早速活かして広報したい。

●キャッチコピーを毎回検討する。

●館内の掲示物を見直します。まずは入口付近。

一週間に以内にまっさらなところから考え直し、ほかの職員さんにも意見を聞き、一か月以内にわかりやすく統一感のある掲示にします。

●固定観念にこだわらず、自分も楽しみながら企画を考える。講義であったように、ターゲットをしぼった企画を試してみる。

●固定観念を捨ててもっと自由にホームページを作成する。

●現在担当している展示棚の掲示(展示している誌名を前面に押し出したデザイン)をキャッチコピーをつけたポスターに更新したい。

●館内のチラシ作成(お話会やイベント展示)をしてきましたが、見づらく難しいです。

今日の研修を機に、既存の掲示の踏襲ではなく、試行錯誤しようと思います。

●他業種の広報を参考に、キャッチコピーや掲示の仕方を考えていきたい。

●市内の外国人を図書館に招いて多文化共生を考えるイベントの開催予定があり、館内展示の多言語化・やさしい日本語表記など図書館の多文化サービスの向上を検討している。今回の研修を踏まえて対象を絞り込んだ企画や館内サービスを展開していきたい。

●話題性。キャッチコピーをきちんと考える。利用者目線にたってシンプルに作成し、広報する。

●作成物にはキャッチコピーを入れたいと思います。攻めたイベントはハードルが高いので、徐々に話題性のあるものを考えていきたいと思っています。

●今までイベントは万人向けのテーマを企画していたのですが、確かに誰にも刺さらないイベントになっていたかもしれない。考え直そうと思います。例えば、ビジネス支援イベントも「就業支援」というよりも「プチ起業」とか、ちょっと対象者が少なそうなテーマを考えたいと思います。SNSも当たり障りのない(突っ込まれない)文言に終始していましたが、TwitterやInstagramの文章はもう少し中の人の個性を打ち出して書いてみようと思います。

●利用者目線の思わず目が行ってしまうような掲示物をつくる。

・キャッチコピーを掲示物すべてに考えてみる。

・様々な広告やキャッチコピーなどの情報を集める。

・日々の生活の中にアイデアは転がっているのを忘れずに目玉の性能をアップさせる。

●今後だけでなく、現在進行形の展示や図書館だよりでも、キャッチコピーをつけていく。

●日常にあるものから人の興味を惹く手法に気づくこと

●イベント名のほかにもキャッチコピーが大事とのことなので、毎月開催している行事のチラシ等につけてみようと思います。

●広報物にキャッチコピーを必ずつける。そのために、広告物のキャッチコピーをよく見る。

- 今度、図書館まつりがあるので、さっそく刺さるようなキャッチコピーを考えたいです。
  - これまでの広報でキャッチコピーを考えなかったのがなかったので、先生が紹介されていた本（あるいは類書）をまずは読んでみます。今後、担当業務の中でチラシを作成する機会があると思うので、キャッチコピーの候補をいくつか考えてみます。
  - とにかく次のイベントからはキャッチコピーをつけます。
  - 次回図書展示の展示名は決定しているが、もっと興味をそそられるような展示名をつけるか、学内にお知らせをする際タイトル名に考えたキャッチコピーを使って宣伝をしてみようと思う。また、同じ研修を受けたスタッフがいたので、そのスタッフに文化祭で行う企画を任せる予定なので、今回の研修を盛り込んだ内容を考えてもらうことにした。
  - 講義の中で、既存の枠にとらわれないことや、目を引くキャッチコピーを作る重要性について学んだので、これからチラシやポスターのお知らせを作る際に、これまでの形にとらわれず、自由な発想で作れるように、広告の本や日常生活の中などから考え方のヒントを見つけていきたいと思います。
  - 研修の要点は理解したつもりなので、紹介されたような図書、資料を参考にするとともに、生活の中から館内での展示や掲示に活かせるものを探していきストックしていきたい。
  - 広報誌・チラシに良いキャッチコピーを付けていきたい。そのためにも日常のなかにある広告・看板などに注目し自身のアイデアにつなげていきたい。
  - 図書館に来る人、本を読む人を増やしたい。図書館の価値を高めたい。
  - 日常生活の中で、キャッチコピーになるアイデアを探したい。
  - 今までは自作のチラシや、他機関から送られてきたポスターをなんとなく掲示するだけだったが、利用者目線で考えた掲示のレイアウトに変更したい。
- 今までにない、魅力的なイベントを今すぐに考えることは難しいが、既存のイベントをもっと魅力的に見せるためのチラシ作り、キャッチコピー作りに励みたい。
- イベントの際のキャッチコピーの作成
  - KGI、KPI の設定。イベント対象のセグメントを人口の1%を目指し、ペルソナを設定する。
  - 館内の掲示をシンプルに、刺さるキャッチコピーも日々意識していきたい。
  - 近々、読書週間イベント企画や掲示物作成があるため、まずはキャッチコピーを作って、掲示物を作成したいと思う。
  - 前例踏襲のポスターを作らないことが課題です。まずは館内にあるポスターで不要なものを撤去し、必要なポスターの新しいデザイン（キャッチコピー）を考えていきたいです。キャッチコピーがあるポスターは今までないので、今日の研修を職員と共有することも必要になると思います。

## 問7 ご意見・ご感想など

- 他館との共同作業はオンラインで少し難しいので図書館単位でワークすることが望ましい。
- わかりやすく、おもしろい講義でした。ありがとうございました。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。
- グループワークがある研修は久々だったので楽しかったです。  
対面でできたらもっと良かったです。
- 先生の研修をもっとお聞きしたいです。
- 何事も情報を広く取り入れ、取捨選択することが大事なのだと思いました。またこのような研修をしてほしいと思います。
- 固定観念にとらわれず、一見不可能なことでも臆せず提案し、皆で考えることが大切だと分かった。  
発想の幅を広げるために、身近なものにも目を向けていきたい。
- 長く図書館にいと、企画や広報のスタイルが固まってしまうので、壁を破ることはやはり重要なのだと感じました。駆け足でしたが、チラッと見た本のタイトルなど面白そうだったので、読みます。  
ZOOM アプリの調子が悪くてインストールし直してたので、開始 10 数分くらい参加できなかったですが、それでも面白かったですし、ためになりました。
- 大変面白いお話でした。グループで意見を出し合い新しいイベントを作るのがとても楽しくて、一人ではとても思いつかないアイデアに感動しました。みんなで考えると遠くまで行けるなど改めて思いました。
- 今まで気が付かなかった、学んでこなかった点を浮き彫りにしていただけたのが大きかった。
- 行事や広報を担当している身として、今回の研修に参加できてとても良かったです。自分にできる範囲で実践していこうと思います。冒頭のカメさんの動画がとてもかわいかったです。今回は研修をありがとうございました。
- 具体的にどうすればよいかのわかりやすく、実践できそうな講義でした。
- またこのような討論会形式の研修を行ってほしいです。
- オンライン研修でグループワークをしたのは初めてですが、雑談のような形式で参加できて楽しかったです。久しぶりに他館の方と会話できて、良い刺激になりました。
- 図書館という固定観念をすて、もっと刺激的な企画、広報を考えていきたいです。
- ZOOM を使用したグループワークがどうなるのだろうと不安だったのですが、同じグループの司会の方が積極的に進めてくれたので話がまとまり発表することが出来た。
- 考えることを放棄せずに、よりよい図書館作りのために日々新しい発想を探していきたいと思います。  
本日は、ありがとうございました。第二回があれば、ぜひ参加したいです。
- 身になる研修をありがとうございました。
- 研修会を受けるまで、固定観念に縛られたまま広報誌やチラシを作成していた。今後は形式にとらわれすぎず、新しい発想を加えながら良いもの作成していきたい。
- グループワークをすると、自分では思いつかないアイデアが出るのは、楽しい。
- グループワークは不要です。討議や実践は職場でできますので、研修（講義）をしてください。

- とても楽しく充実した時間で、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 自分が元・販売職でPOP作成をしていた経験があり、公共図書館では一般企業のようにしてはいけないと勝手に思っていました。飛田図書館のように図書館のイメージを覆すような広報ができたらと思います。
- 広報に関して自分が素人であることを自覚することができました。プロになることは難しいですが、図書館の本を通して、また日常生活の中でプロから学ぶことはできるので、今の気持ちを忘れないようにしたいと思います。身になる研修会を企画していただき、ありがとうございました。

#### 問8 今後研修会で取り上げて欲しいテーマ

- 接客研修。定番のマナー研修でなく、カウンターで利用者さんを怒らせない対応、クレームを生まない対応など対人の基礎レベルの研修があるとよいです。
- デザインについて
- レファレンス向上。他の図書館の方との交流や意見交換をしたい。
- 講演会・イベント等の立案方法、企画の進め方、交渉の仕方や、講師の依頼先についての研修があれば聞いてみたいです。
- ヤングアダルト研修
- 広報のデザイン面の配色やセンスの磨き方など。
- 仁上先生のお話をもっと聞きたいです。
- 他部署との連携の取り方。図書館の存在感のPRについて。
- 図書館の困った事例対応について（利用者トラブルの対応方法などを、法的に問題ないかも含めて学びたいです）
- 図書館以外の会社の広報担当の方からも話が聞けたらと思います。
- スマホでの資料撮影に関してやコロナの規制が緩くなっていく中でのマスク着用の注意に関してどのように利用者に声掛けしているかといった各館で困っている利用者対応について。
- 図書館業務の基礎的部分（書架の整理の仕方、貸出、返本などについて）。自館では当たり前のように行っていたことでも他の館と差異などあるのかなどわからないことが意外に多い。
- 掲示物やチラシを具体的にレイアウトしていく研修会
- Wordで作るチラシ。
- 刺さる館報・チラシの作成（実例や添削を交えながら）
- 来年はテーマを変えて、また広報に関する講義を受けたいと思いました。